

■優秀賞 （五十音順に掲載）

①株式会社石見麦酒（江津市）

<http://www.iwami-bakushu.com/>



○表彰事業

「石見醸造法」によるクラフトビールの製造」



○事業内容

2015 年、島根県江津市では、老舗酒造メーカーも操業を停止し、1 軒も酒造メーカーがない状態であった。

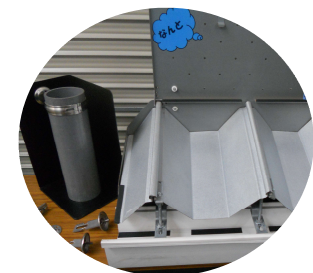
そこで、2015 年 1 月に、江津市が主催するビジネスプランコンテストへ、地域の素材を使ったクラフトビールを地酒にするプランを提案し、大賞を受賞した。

本プランは、単なる醸造所新設の事業プランだけではなく、日本で誰も実現し得なかった、ステンレス発酵タンクを使わない方法により日本で初めてクラフトビールの醸造を開始することであった。この醸造方式は、「石見式醸造法」と業界では呼ばれ、全国に 400 社以上あるクラフトビールメーカーのうち、40 社以上がこの醸造法を採用している。

「石見式醸造法」の技術をクローズにしないことにより、全国から多くの研修生を呼び込むことができおり、醸造コンサルティング事業・醸造設備販売事業に繋げている。

②有限会社広島金具製作所（福山市）

<http://www.hirokane-m.co.jp/>



○表彰事業

「建築現場の人手不足にジャストミートする製品開発」

○事業内容

建設業界は、深刻な人手不足の問題を抱えている。建築現場では、年々熟練技能者が減っていくなかで、施工の簡易化により作業工数を削減し、経験年数の少ない技能者でも簡単に施工できる製品・工法が望まれている。

そこで、当社の強みである「発想力」と「技術力」で、他社にない施工性の高い雨どい吊金具「吊ピタ君」の開発を行った。

市場に出回っている従来の雨どい吊金具と比べ、屋根に取付用の穴を開けるなどの技術を必要としないため、施工工程が大幅減となり、施工時間が、従来より 1/2 から 1/10 と激減するニーズを捉えた製品であることから、市場からの評価も高く、量販を開始し、全国展開することになった。

また、色々な屋根に対応できるようシリーズ化し、オリジナル製品新事業として成長している。

③ユアサシステム機器株式会社（岡山市）

<https://www.yuasa-system.jp/>

○表彰事業

「フレキシブル化を支える耐久試験 TOP メーカーを目指して」

○事業内容

「ニーズを機械（カタチ）に」を理念に、生産設備製造メーカーとして事業スタートしたが、自分たちの技術を市場に投入するシーズ型企业へと事業変革するため、既存技術の「ケーブル屈曲試験機」を基盤とし、耐久試験機メーカーとして事業展開を行った。

耐久試験機市場動向のマーケティングを行っているなか、フレキシブルディスプレイの規格化が行われることを先行入手し、「フレキシブルデバイス耐久試験機」を開発し、新規事業として展開した。これにより、フレキシブルデバイス市場の中で、いち早く技術展開を行い、業界のデファクトスタンダードの地位を確立することができた。また、東京工業大学と共同開発した「形状解析システム」を販売し、海外大手スマートフォンメーカーへ納入することで、海外市場展開も行いながら事業の拡大を進めている。

2020 年は、コロナ禍となったが、耐久試験レンタルラボで、事業を展開した。さらに、2022 年から、デジタル化を行い、製品を送ってもらい、代行で試験する事業も展開する。レンタルのコンサルティングにより、データが蓄積され、これが、新しい事業展開に繋がっていく。

